



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成28年11月1日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX(0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第46号



爽やかな秋晴れの空の下で開催された「第4回宝達山ヒルクライム大会」

主な記事

.....→

■平成28年第3回定例会 2

■一般質問(2名) 6

■委員会ノート 7

■町議会日誌 10

平成28年第3回

9月8日~16日

定例会



定例会の様子

◎予算関係

○一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億6,965万2千円を追加し、予算の総額を82億9,402万8千円とするもの。

補正予算の概要

歳出の主なものは、平成27年度決算で生じた剰余金を後年度の財政負担の軽減を図るため、減債基金へ積み立てるとともに、さらなる財政健全化の推進を目的に、公債費において地方債の繰上償還を実施するため所要の経費を追加するもの。

目的別では、民生費において、臨時福祉給付金給付事業等において、前年度の事業費確定に伴う補助金の返還金を追加するほか、ひとり親家庭等医療費給付事業において、医療給付等のデータ管理システムを新たに導入するため、所要の経費を追加するもの。

衛生費では、町民センターアスタラスの外壁欠損部の補修等に要する経費の

ほか、予防接種事業において、10月からB型肝炎ワクチンの定期接種化に伴い、管理システムの改修経費やワクチン接種に要する経費を追加するもの。

農林水産業費では、国の定める環境保全型農業施策に基づき、新たに取り組む農業者団体に対する活動支援に要する経費を追加するもの。

土木費では、継続的な除雪体制を確保するため、除雪機械の冬期間のリース料を追加するほか、県道向瀬杉野屋線・主要地方道押水福岡線など、県営事業に対する負担金を追加するもの。

消防費では、消火栓の漏水修繕に伴う工事負担金を追加するほか、夜間停電時の町指定避難場所等への幹線道路からのアプローチを確保するため、太陽光発電設備や蓄電池を併設したLED避難誘導灯の新設に要する経費を追加するもの。

教育費では、志雄運動公園野球場外野フェンスの経年劣化に伴う改修経費のほ

か、埋蔵文化財センターの施設用途変更における県条例の適合に要する施設改修経費などを追加するもの。

主な歳入

・分担金及び負担金

31万5千円

(町単土地改良事業費分担金)

・国庫支出金

25万7千円

(障害者医療費負担金〔過年度分〕)

・県支出金

7,231万8千円

(民生児童委員活動費負担金4万4千円、環境保全型農業支援対策補助金27万4千円、石川県公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金7,200万円)

・繰入金

4億7,443万5千円

(減債基金繰入金4億7,051万1千円、国民健康保険直営診療所特別会計繰入金392万4千円)

・繰越金

2億7,218万9千円

(前年度繰越金)

・町債

△4,986万2千円

(臨時財政対策債)

主な歳出

・総務費

1億9,018万8千円

(一般管理事務費18万8千円、基金積立金1億9,000万円)

・民生費

421万3千円

(民生児童委員活動費4万5千円、ひとり親家庭等医療費給付事業費172万8千円、臨時福祉給付金給付事業費42万5千円、障害者自立支援給付事業費191万5千円、職員人件費10万円)

・衛生費

215万6千円

(町民センター管理運営費79万4千円、予防接種事業費129万8千円、後期高齢者医療費6万4千円)

・農林水産業費

99万8千円

(環境保全型農業直接払等推進交付金事業費36万6千円、町単土地改良事業費63万2千円)

千円、町単土地改良事業費63万2千円)

・商工費

29万9千円

(観光事務費15万3千円、地域おこし協力隊事業費4万2千円)

・土木費

711万円

(道路維持管理事業費15万円、除雪対策事業費32万4千円、県営事業負担金372万円)

・消防費

7,303万円

(消防施設整備事業費42万1千円、消防施設維持管理事業費17万3千円、災害対策事務費7,243万6千円)

・教育費

2,114万7千円

(職員人件費18万円、文化財保護管理事業費20万8千円、埋蔵文化財センター管理運営事業費65万3千円、体育施設管理運営費1,425万6千円)

・公債費

4億7,051万1千円

(償還元金)

〔賛成9人、反対1人〕



埋蔵文化財センターとして改修される旧押水図書館

○国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ269万4千円を追加し、総額を19億2,516万円とするもの。

補正予算の概要

国民健康保険の運営主体が平成30年度に市町村から都道府県に移管されるに当たり、県への関連データの提供に必要な連携システムの改修経費を追加するほか、人間ドック助成金の申請件数が当初を大きく上回る見込みとなったため、所要の

経費を追加するとともに、前年度の事業実績に伴い療養給付費交付金の返納金を追加するもの。

主な歳入

・国庫支出金

162万円

(国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金)

・繰越金

107万4千円

(前年度繰越金)

主な歳出

・総務費

162万円

(一般事務費)

・保健事業費

37万5千円

(健康づくり推進事業費)

・諸支出金

69万9千円

(療養給付費交付金返納金)〔全員賛成〕

○介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,948万1千円を追加し、総額を17億9,933万9千円とするもの。

補正予算の概要

前年度事業確定に伴う国・県支出金等の返還金を追加するもの。

主な歳入

・支払基金交付金
24万1千円

(過年度分支払基金交付金)
・繰入金
1,904万6千円

(介護給付費準備基金繰入金)
・繰越金
19万4千円

主な歳出

・諸支出金
1,948万1千円

(国庫支出金等過年度分返還金1,630万9千円、

県支出金等過年度分返還金306万5千円、支払基金過年度分返還金10万7千円)

〔全員賛成〕

○国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ392万4千円を追加し、総額を4,753万8

千円とするもの。

補正予算の概要

平成27年度決算で生じた剰余金について、一般会計への繰出金として所要額を追加するもの。

主な歳入

・繰越金
392万4千円

(前年度繰越金)

主な歳出

・施設費
392万4千円
(一般会計繰出金)

〔全員賛成〕

○水道事業会計補正予算(第2号)

・収益的収入に267万5千円を追加するもの。

(消火栓改修工事に伴う営業収益や国債の売却運用益発生による営業外収益)
・収益的支出に161万8千円を追加するもの。

(志雄浄水場第一水源井戸掘削調査及び志雄浄水場門扉修繕に係る営業費用)

・資本的収入に1億170万7千円を追加するもの。

〔全員賛成〕

～議会一口メモ～

議会の概要(その2)

議会には、議会の運営を円滑、効率的に行うために議会運営委員会を設置します。また、議案等の調査、審査をより詳細に、かつ、専門的に行うために、常任委員会を、さらに、特定の事件について調査審査するため、特別委員会を設置しています。

○本町議会の常任委員会

- ・総務産業建設常任委員会
・教育厚生常任委員会

○本町議会の特別委員会

- ・病院運営特別委員会
・中学校建設特別委員会
・ふるさと人口対策特別委員会
・広報編集特別委員会
・議会改革特別委員会
・決算特別委員会

報告の概要

志雄病院新病院建設事業における実施設計費の継続費精算報告書の報告をするもの。

○平成27年度決算に基づく健全化判断比率等

報告の概要

平成27年度決算に基づく指標は、実質赤字比率、連結実質赤字比率とも、これまでと同様に実質赤字額、資金不足額が生じていないため該当はない。

◎条例関係

○宝達志水町ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例

条例の概要

児童扶養手当法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

〔全員賛成〕

◎報告関係

○平成27年度宝達志水町国民健康保険志雄病院事業会計継続費精算報告書の報告

将来負担比率は、「108・2%」と昨年度の「141・9%」から33・7ポイント減少した。

主な理由は、昨年度は大規模の建設事業がなく、一般会計の地方債発行額を抑制したことや繰上償還の実施により地方債現在残高が減

- 平成27年度宝達志水町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
 - 平成27年度宝達志水町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
 - 平成27年度宝達志水町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
 - 平成27年度宝達志水町一般会計歳入歳出決算の認定
- 少したこと。また、充当可能基金では、前年度決算剰余金等を原資として減債基金、町有施設整備基金に積み立てを実施したことが大きく改善に影響している。公営企業における資金不足比率は、資金不足が生じていないため「該当なし」となっている。
- 平成27年度決算の指標は、実質公債費比率及び将来負担比率ともに5年連続で改善されているが、依然として県内他市町より高い数値であることに変わりない状況である。

◎平成27年度決算認定関係

- 健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成27年度宝達志水町ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成27年度宝達志水町水道事業会計決算の認定
- 平成27年度宝達志水町下水道事業会計決算の認定
- 平成27年度宝達志水町国民健康保険志雄病院事業会計決算の認定

【いずれも継続審査】

◎決算特別委員会

- 委員長 土上 猛
- 副委員長 金田 之治
- 委員 小島 昌治
- 委員 柴田 捷
- 委員 久保 喜六
- 委員 寶達 典久

◎契約関係

- 宝達志水町役場庁舎電気設備等改修工事請負契約の締結
- ・契約の相手
東洋電建株式会社
- ・契約金額
4,957万2千円

【全員賛成】

◎請願関係

- 国の教育予算を拡充することについて

【採択】

◎議会議案関係

- 教育予算の拡充を求める意見書について

議案の概要

- 教育予算の拡充を求める意見書

【採択】

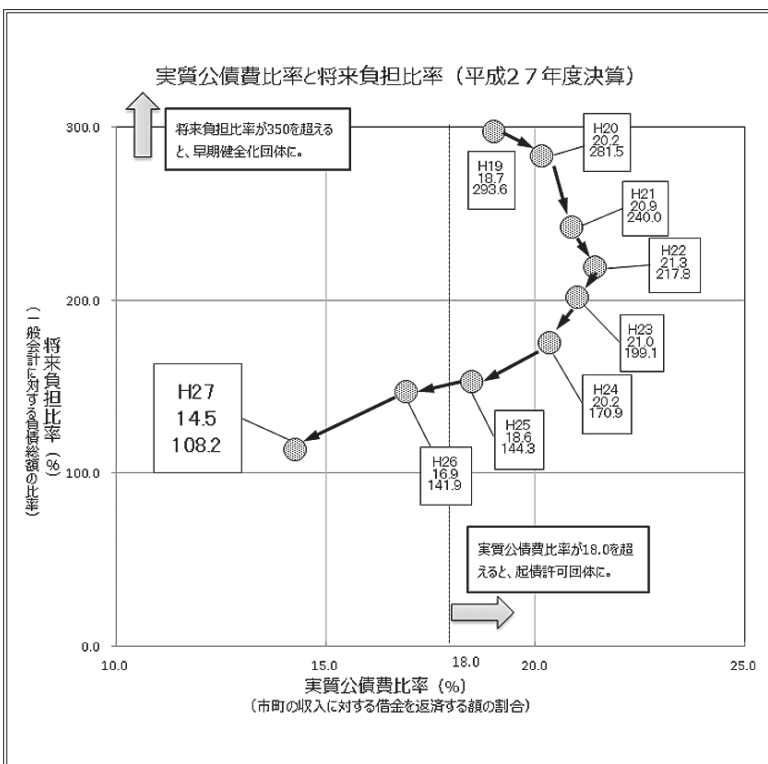
◎羽咋郡市広域圏事務組合議会関係

8月30日に行われた平成28年第2回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会において、北本俊一議員が議長に選出されました。



羽咋郡市広域圏事務組合議会議長
北本俊一議員

財政状況 悪い



起債許可団体
実質公債費比率が18を超えると該当になり、起債に県の許可が必要となる。

早期健全化団体

- 実質赤字比率が11.25%～15%
- 連結実質赤字比率が16.25%～20%
- 実質公債費比率が25%
- 将来負担費比率が350%

上記4つの財政指標のうちいずれか1つ以上が下記の基準に達している場合該当となり、財政健全化計画を作成しなければならない。

財政再生団体

- 実質赤字比率が20%
- 連結実質赤字比率が30%
- 実質公債費比率が35%

上記3つの財政指標のうちいずれか1つ以上が下記の基準に達している場合該当となり、財政再生計画を作成しなければならない。

いっばん 質問

小学校・保育所統廃合方針について

町長

「望ましい教育、安心して安全な保育のため、必要である」



寶達典久 議員

問 小学校・保育所統廃合方針について

- ① 「2小学校・2保育所」の方針では数が少なすぎる。廃止になる地域の過疎化に拍車がかかるのではないかと
- ② 平成30年4月に統廃合することにこだわる必要はないのではないかと
- ③ 小規模特認校とはどのような制度か

答 町長

① 町総合戦略において定住促進や子育て支援など様々な施策を実施しており、その効果が少しずつ出ていることから、統廃合により、人口減少に拍車がかかることは考えていない。

② 小学校については、児童の人口減少による教育的課題を少しでも早く解消することとし、保育所については、認定こども園に移行し、保育の充実にも努めたいことから、平成30年4月を目標に進めて行きたい。

③ 小規模特認校は児童・生徒数が著しく減少する小中学校において、歴史的な経緯、学校の特色等により小規模校の特性を活かした教育を希望する保護者の児童・生徒に、学校選択の機会を提供するというもの。

問 消防団の再編について

- ① 現状と再編の必要性は
- ② 再編計画は、消防団が地域防災の要として活動可能な内容か
- ③ 計画の進行状況は

答 町長

① 必要性については、消防団の効率的な運営と団員数を確保するため、消防団の再編を進めて行きたい。

② 再編計画においては、押水地区2分団、志雄地区2分の団体制をとりたい。

答 危機管理室長

③ 随時、消防団の役員会を開催し、協議をしている。

合併算定替の終了と交付税の見直しによる補填について

町長

「行財政改革に不断に取り組み歳出削減に努め、持続可能な行財政運営に努めてまいります」



小島昌治 議員

問

- ① 合併算定替の終了と交付税の見直しによる補填について
- ② 下水道利用料金の5割を超える引き上げによる町民の影響について
- ③ 熊本地震の教訓をどういかにするか
- ④ 雇用促進住宅について

答 町長

① 合併算定替の特例措置による財政支援は承知している。しかしながら、一般財源の確保が厳しい状況には変わりない。今後、確実に増嵩が見込まれる社会保障関係経費、施設の老朽化対策やインフラの更新のほか、公債費の負担にも対応しつつ、総合戦略など人口減少対策に引き続き取り組んで行かねばならない。そのためには、財政の健全化はもとより、一般財源を捻出しながら将来への備えにも万全を期し、社会経済情勢の変化にも機動的に対応できる持続可能な行財政運営に努めたい。

② これまで、一度の改定も行わずに事業を実施してきたが、処理場建設、管路布設等に要した費用についての企業償還金、支払利息、維持管理費等が嵩み、これに加え、人口減少により処理水量が減少しているため、下水道事業開始以来、初めて、料金の改定を行った。

③ 防災講座などで地震への注意喚起を行っている。また、毎年7月に実施している、地震発生時に取るべき行動を実践する「シェイクアウトいわ」やJアラートを活用した緊急地震速報訓練の機会を通して、地震の揺れから自分の身の安全を守るということを住民に押し、浸透させて行きたい。

④ 町の財政状況や今後の維持管理の経費を考慮すると町で購入することはできない。

④ 町の財政状況や今後の維持管理の経費を考慮すると町で購入することはできない。

教育予算の拡充を求める意見書

議案提出者 寶達 典久 議員

日本は、OECD加盟諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっています。

また、障害者差別解消法の施行にともなう障がいのある子どもたちへの合理的配慮、外国につながる子どもたちへの支援、いじめ・不登校などの課題など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大しています。また、学習指導要領により、授業時数や指導内容が増加しています。

こうしたことの解決にむけて、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必要です。

自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要です。一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善が不可欠です。

義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた現在、いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われていると聞きますが、やはり、国の施策として定数改善にむけた財源を保障し、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが重要であると考えております。

子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠です。

こうした観点から、2017年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう、強く要望します。

記

- 1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

委員会レポート

第3回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 交付税の算定事務の時期はいつごろか。

事情等によるものは、特殊要因等により特別交付税として措置される。

答 普通交付税の算定事務は5月頃から順次、計数等報告をし、7月中旬には交付額が確定する。

問 除雪機械は全部で何台か。

問 合併算定替えの算定方法見直しの影響額については、今回の算定に考慮されているのか。

答 町が所有しているものは7台で、業者に貸出しているものが3台で、今回、新たに3台追加し、業者に貸し出すこととしている。

問 支所（アステラス）に要する経費等の算定方法が見直され、算定上は加算措置されている。

問 国債の売却益は、満期によるものか。

問 交付税は、団体で算定して請求となるのか、国とのやりとりによるものなのか。

答 当初20年もので利率0.4%の国債を購入した。しかし、このまま保有しているよりも、今売却した方が得策であると証券会社のアドバイスもあり、売却した。売却益で9年分の利息分を先取りしたことになる。

問 普通交付税は算定項目が決まっており、積み上げた算定結果に基づき交付総額が決定され交付される。町の特例

問 補正予算に計上された



LED 避難誘導灯

避難誘導灯の設置台数は。
答91基を設置する予定で、避難施設に向かうための幹線路から50m間隔に設置する予定である。

教育厚生常任委員会

問ひとり親家庭等医療費給付システムと予防接種

委託導入業務委託料は随意契約か。また、金額は妥当なのか。

答いずれも随意契約を行う予定である。金額については、「ひとり親家庭等医療費給付事業」は、他市町の契約金額を確認して対象人数で割り出したところ、ほぼ妥当であ

った。「予防接種委託」については、数年前に他の予防接種システム改修をしたときと同額であり、妥当と考えている。

問B型肝炎の定期予防接種について、BCGの予防接種事故のようなことが二度と起きないようにしっかりとした形で行ってほしい。

答BCG予防接種事故を受けて予防接種健康被害調査委員会を開催し、今後の対応策について能登中部保健福祉センターに精査をしていただき、BCG予防接種を再開した。

問宝達中学校の修繕について、現在はどうなっているのか。また、今後の

修繕計画はどうなっているのか。

答倉庫の換気のためのガラリ扉の交換は完了している。また、教室等の吸音板設置工事は、現在、実施中である。その一方で、最近の強い雨風で体育館に雨が吹き込み、2階のランニング

ロードに雨漏りが発生したが工事施工者が対策を取ることとなっている。また、校舎周りの砂の飛散については、対策を検討している。なお、その他の内部の細かい箇所については、完了している。

問小学校の爆弾予告事件があったが、町としてどう対処したのか。

答他市町の教育委員会と情報共有しながら同じ対応を取っていきこうということとなった。学校では、

早朝、見回りを行った。その後、爆破予告時刻に子どもを運動場に屋外退避させた。安全を確認し、校舎の中へ入れた。また、犯行予告時間前に全児童を帰宅させ、再度、校内巡回確認した。今後、対応マニュアル等を作成し



志雄運動公園野球場の外野フェンス

ていきたいと考えている。

問志雄運動公園野球場の外野フェンスの修繕工事で基礎部分を行わないのか。また、修繕にかかる補助金の有無は。

答現状のまま持ちこた

えられると判断している。また、事業費は一般財源である。

問埋蔵文化財センターは、改修工事が完了すれば、すぐに使用できるのか。

答改修作業を終えて用途変更許可後に使用可能となる。

問図書館のまま資料展示はできなかったのか。

答閉鎖した図書館については、同じ文教施設として再利用する事で、文部科学省から許可を得、合わせて補助金の返還も不要として進めてきた。文化庁の指導に沿わなければならない、変更のための法手続きが必要である。

問埋蔵文化財センターへの用途変更後、町の歴史資料も置くのか。



新病院の建設工事現場視察

病院運営特別委員会

問新病院開設後の押水クリニクの対応はどうなるのか。

答公共施設統廃合検討委員会を再開し、今後の対応について協議検討したい。いずれにしても新病院開設までには、その方向性を決めたい。(なお、委員会では、

会議終了後、新病院の建設工事現場を視察し、工事の進捗状況を確認した。)

病院運営特別委員会視察報告書

8月3日～4日

千葉県東庄町
国民健康保険
東庄病院

現在、建設中の新病院運営の参考とすべく、本町と同程度の人口規模である東庄町国民健康保険東庄病院の視察を行った。

本町からは、金田委員長、西澤病院長をはじめとする総勢10名が、また、東庄町からは岩田町長、土屋議長、病院長の他、

多数の関係者の出席のもとで、当該病院及び地域福祉の拠点となる保健福祉総合センターを視察し、その後、東庄町の医療、保健、福祉の連携及び取り組みや往診、訪問看護等の在宅医療の取り組みについて研修及び意見交換を行った。



熱心に説明をする岩田東庄町長

東庄病院は、「私たちは、保健・福祉・介護と連携し、地域の皆さまに信頼され愛される病院を目指します。」と言う基本理念を掲げ、『東庄町健康づくりの里構想』に基づき保健・医療・福祉の三位一体となった中核施設である。

現在は、常勤医師4名による内科診療と、非常勤医師による整形外科及び循環器内科の診療に併

せ、救急告示病院として、24時間体制での救急患者の受け入れを行っており、地域に密着した病院として、重要な役割を担っている。

また、総合病院国保旭中央病院と緊密な連携を図り、地域住民が安心して医療体制を整えている。

病院長は、隣接する東庄町保健福祉総合センター長を兼任しており、センター内の訪問看護ステーション・地域包括支援センター・保健センター・デイサービスセンターとの連携もとれ、医療・保健・福祉・介護のトータルケアを提供している。

東庄町保健福祉総合センター、オーシャンプラザ

保健福祉総合センター

保健福祉総合センターは、平成8年3月の東庄病院新築を機に、平成10年3月『東庄町健康づくりの里構想』を策定し、

保健・医療・福祉の三位一体化をめざして建設に着手、平成11年より業務を開始した。

当該センターの機能は、保健センター、地域包括支援センター（当初は在宅介護支援センター）、訪問看護ステーション、デイサービスセンターの4部門となっている。

保健福祉総合センターには、東庄町健康福祉課が置かれている。福祉係、保健衛生係（保健センター）、介護保険係のほか、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、デイサービスセンターも健康福祉課の所管となっており、診察室や機能訓練室、調理実習室などを配置している。

なお、デイサービスセンター（定員35名）は、当初東庄町社会福祉協議会に運営委託していたが、



東庄町の保健、福祉の要、保健福祉総合センター

平成15年4月から民間事業者へ業務委託しており、平成21年度にはプール浴槽をヒバの個浴槽に改修している。

また、外出支援巡回バス「おでかけ号」を平成14年4月からマイクロバス2台で東庄病院を起終点として運行（町内5ルート）しており、平成15年5月に旭中央病院ルートの新設、平成25年10月にマイクロバス1台を加え、旭中央病院ルートを増便した。利用料金は無料で、公益社団法人千葉県シル

バー人材センター連合会を通じ、一般社団法人東庄町シルバー人材センターより運行業務従事者の派遣を受け運営している。

オーシャンプラザ

オーシャンプラザは、保健福祉総合センターの竣工から1年半後の平成12年9月に竣工した。

1階は、東庄町社会福祉協議会（ボランティアセンター）、東庄町シルバー人材センター、ホームヘルパー研修室、東庄病院リハビリテーションルームが配置されている。2階は、東庄病院療養型病棟（48床）になっており、東庄病院と連絡通路により結ばれている。

なお、研修は、東庄病院長が、偶然にも西澤病院長の先輩医師でもあったことから、打ち解けた雰囲気の中、忌憚のない意見等が多数出され、予定時間を超過して終了した。

町議会日誌 7月～9月

〔7月〕



道路愛護デー会見式

- 1日 第66回「社会を明るくする運動」協力依頼の大臣メッセージ伝達
- 3日 道路愛護デー会見式
- 6日 主要地方道押水福岡線改良促進期成同盟会
- 12日 河北縦断道路完成に伴う県知事訪問
- 13日 R D F 広域処理組合議会行政視察

- 15日 今浜海水浴場浜開き
- 18日 所司原キャンプ場開村式
- 19日 議会運営委員会広報編集特別委員会

- 21日 郡町議会議長会議員研修会
- 22日 県戦没者慰霊式
- 23日 県民体育大会結団式
- 25日 例月出納検査
- 26日 議長、副議長、委員長研修
- 28日 決算審査、基金運用状況審査
- 29日 郡市広域圏事務組合議会運営委員会

- 1日 決算審査、基金運用状況審査
- 2日 町戦没者追悼式及

〔8月〕



議員、監査委員、職員研修

- 3日～4日 び慰霊祭
- 5日 ちどり園夏祭り
- 6日～7日 会視察（千葉県）
- 9日 県民体育大会応援
- 9日 県町村監査委員会協議会理事会、総会
- 12日 河北縦断道路建設促進同盟会総会
- 12日 郡市広域圏事務組合議会運営委員会
- 12日 町青少年国際交流推進事業結団・出

- 12日 町青少年国際交流推進事業結団・出

〔9月〕

- 17日 議員、監査委員、職員研修
- 18日 町国民健康保険運営協議会
- 19日 議会運営委員会
- 22日 R D F 広域処理組合議会定例会
- 23日 民生委員推薦会
- 25日 町社会福祉大会
- 26日 例月出納検査
- 30日 郡市広域圏事務組合議会定例会
- 31日 ふるさと人口対策特別委員会

- 16日 町頭章選考委員会
- 16日 議会運営委員会
- 23日 町議会定例会再開
- 23日 町商工会・町長を囲む会
- 25日 敬老会（志雄地区）
- 26日 県町村議会議長会協議会
- 28日 例月出納検査
- 28日～30日 郡町議会議長会行政視察（北海道）

- 14日 総務産業建設常任委員会
- 12日 教育厚生常任委員会
- 11日 のと里山空港200万人利用記念式典
- 9日 病院運営特別委員会
- 8日 議会運営委員会



郡町議会議長会行政視察（足寄町議会）

- 広報編集特別委員会
- 委員長 土上 猛
 - 副委員長 柴田 捷
 - 委員 北 信幸
 - 委員 久保 喜六

議会を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を知っていただくために議会の傍聴におこしください。

問い合わせ 議会事務局 TEL 89-8310



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。